

市庁舎建設に関するまちづくり会議 アンケート結果

アンケート概要

- ・調査名称: まちづくり会議アンケート【市庁舎本館の現状と今後の対策(庁舎建設)の考え方】
- ・調査期間: 平成23年6月30日～8月20日
- ・調査対象: 各地区のまちづくり会議参加者
- ・調査内容: 市庁舎建設に関するまちづくり会議での説明に関する評価、市庁舎建設に関する意見・質問等
- ・調査方法: 各地区のまちづくり会議での説明後にアンケートを配布
- ・調査実施: 経営改革推進室(エンジンルーム)

アンケート結果

■目次■

0. 回答者の属性について

- ・性別・まちづくり会議の地区・職業・年齢の集計…………… 2

1. 本日の説明内容(市庁舎本館の現状と今後の対応の考え方)について伺います。

(1)内容はわかりやすかったですか。

- ・回答の集計…………… 3
- ・理由(主なものを抜粋して掲載)…………… 3

(2)市庁舎の現状を踏まえ、今後の対応について、ご意見をお聞かせください。

- ・回答の集計…………… 3
- ・地区別内訳①(実数)…………… 4
- ・地区別内訳②(割合)…………… 4
- ・理由(主なものを抜粋して掲載)…………… 5～6

(3)「市庁舎の現状と今後の対策の考え方」に関するご意見・ご質問・ご感想をお聞かせください。

- ・質問・質問に対する市の回答(全件掲載)…………… 7～9
- ・意見・感想(全件掲載)…………… 10～14

2. 市の行政サービス全般について伺います。

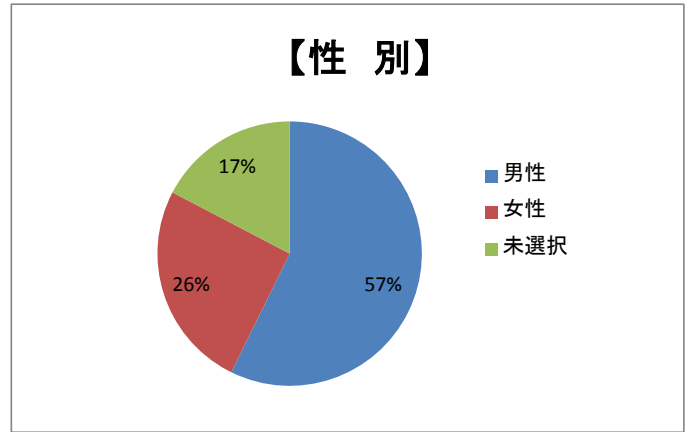
現在の行政サービスに満足していらっしゃいますか。

- ・回答の集計…………… 14

0. 回答者の属性について

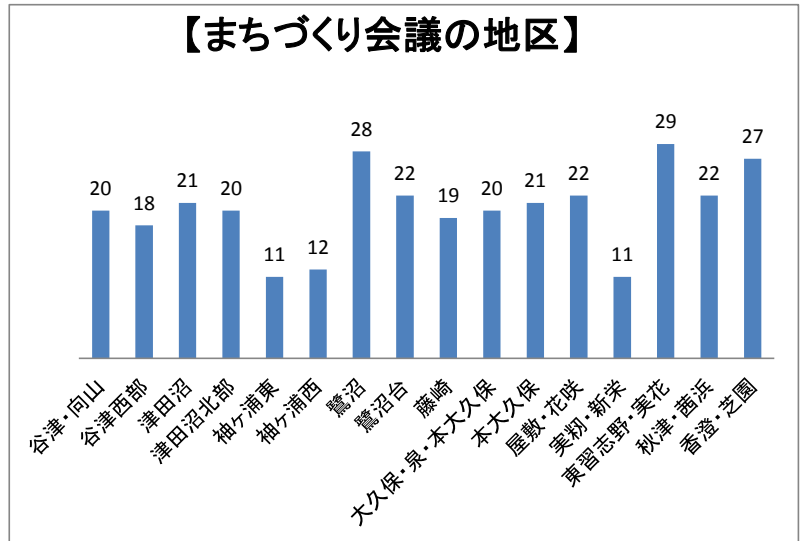
【性別】

選択肢	人数(人)	割合(%)
男性	185	57.3%
女性	82	25.4%
未選択	56	17.3%
計	323	100.0%



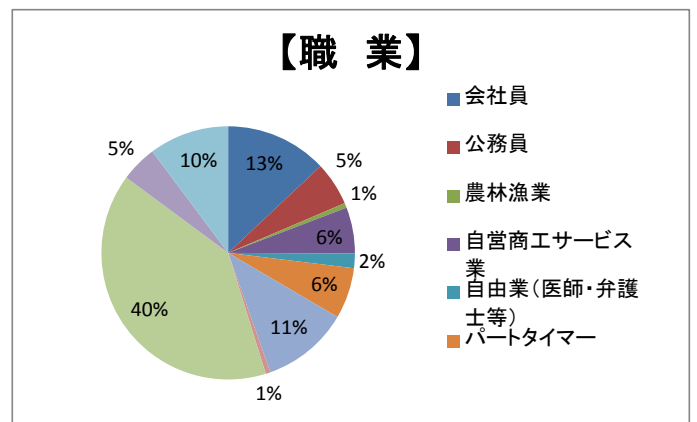
【まちづくり会議の地区】

選択肢	人数(人)	割合(%)
谷津・向山	20	6.2%
谷津西部	18	5.6%
津田沼	21	6.5%
津田沼北部	20	6.2%
袖ヶ浦東	11	3.4%
袖ヶ浦西	12	3.7%
鷺沼	28	8.7%
鷺沼台	22	6.8%
藤崎	19	5.9%
大久保・泉・本大久保	20	6.2%
本大久保	21	6.5%
屋敷・花咲	22	6.8%
実籾・新栄	11	3.4%
東習志野・実花	29	9.0%
秋津・茜浜	22	6.8%
香澄・芝園	27	8.4%
計	323	100.0%



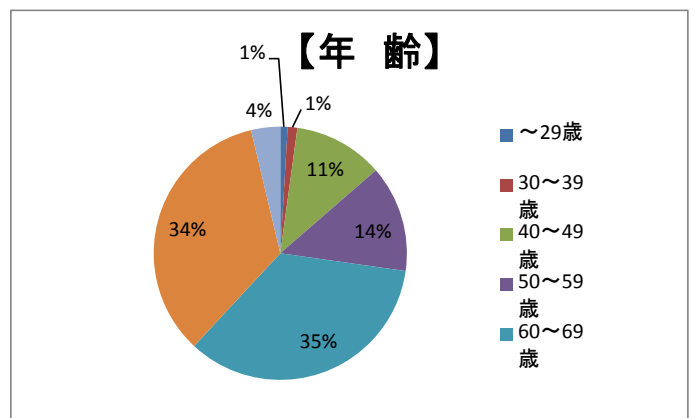
【職業】

選択肢	人数(人)	割合(%)
会社員	42	13.0%
公務員	18	5.6%
農林漁業	2	0.6%
自営商工サービス業	19	5.9%
自由業(医師・弁護士等)	6	1.9%
パートタイマー	21	6.5%
家事専業	36	11.1%
学生	2	0.6%
無職	129	39.9%
その他	15	4.6%
未選択	33	10.2%
計	323	100.0%



【年齢】

選択肢	人数(人)	割合(%)
～29歳	3	0.9%
30～39歳	4	1.2%
40～49歳	37	11.5%
50～59歳	44	13.6%
60～69歳	112	34.7%
70歳～	111	34.4%
未選択	12	3.7%
計	323	100.0%

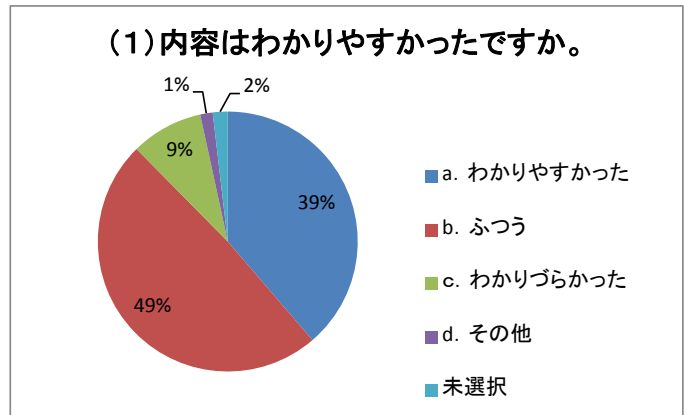


1. 本日の説明内容(市庁舎本館の現状と今後の対応の考え方)について伺います。

(1) 内容はわかりやすかったですか。

【回答の集計】

選択肢	人数(人)	割合(%)
a. わかりやすかった	125	38.7%
b. ふつう	158	48.9%
c. わかりづらかった	29	9.0%
d. その他	5	1.5%
未選択	6	1.9%
	323	100.0%



【理由】

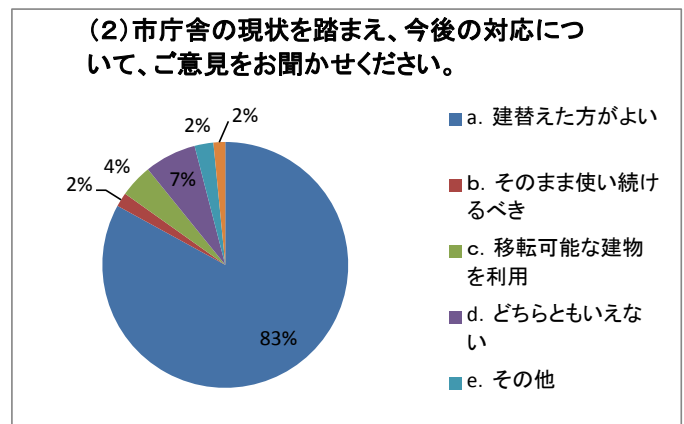
※主なものを抜粋して掲載しました。

選択肢	主な意見(抜粋)
a. わかりやすかった	<ul style="list-style-type: none"> ・当初の説明は納得できました。今後の進め方に期待致します。 ・資料もよくできていましたし、様々な疑問にも的確に答えてくださり、非常に納得のいくご説明でした。 ・順を追って資料に分かりやすく書いてあり、それに沿って説明してもらったので分かりやすかった。 ・検討を開始するという情報提供は理解できた。質問を聞く内に、色々クリアしなければならない課題の多さが分かった。
b. ふつう	<ul style="list-style-type: none"> ・現状は分かったが、将来の設計図、あるべき姿が見えてこなかった(総額の予算、資金の調達法等)。 ・具体的な被害箇所や専門用語等に対する説明が足りない感じがした。
c. わかりづらかった	<ul style="list-style-type: none"> ・専門知識のないものは理解できない事項(言葉)があった。 ・必要性(庁舎)は分かりやすいが、費用的に可能なのかどうなのか不明。 ・現状の説明は分かったが、これからどうするのがよく分からなかった。
d. その他	<ul style="list-style-type: none"> ・時間が短く何とも言えない。 ・「いきなり」という感

(2) 市庁舎の現状を踏まえ、今後の対応について、ご意見をお聞かせください。

【回答の集計】

選択肢	人数(人)	割合(%)
a. 建替えた方がよい	268	83.0%
b. そのまま使い続けるべき	6	1.9%
c. 移転可能な建物を利用	14	4.3%
d. どちらともいえない	22	6.8%
e. その他	8	2.5%
未選択	5	1.5%
計	323	100.0%



【地区別内訳①(実数)】

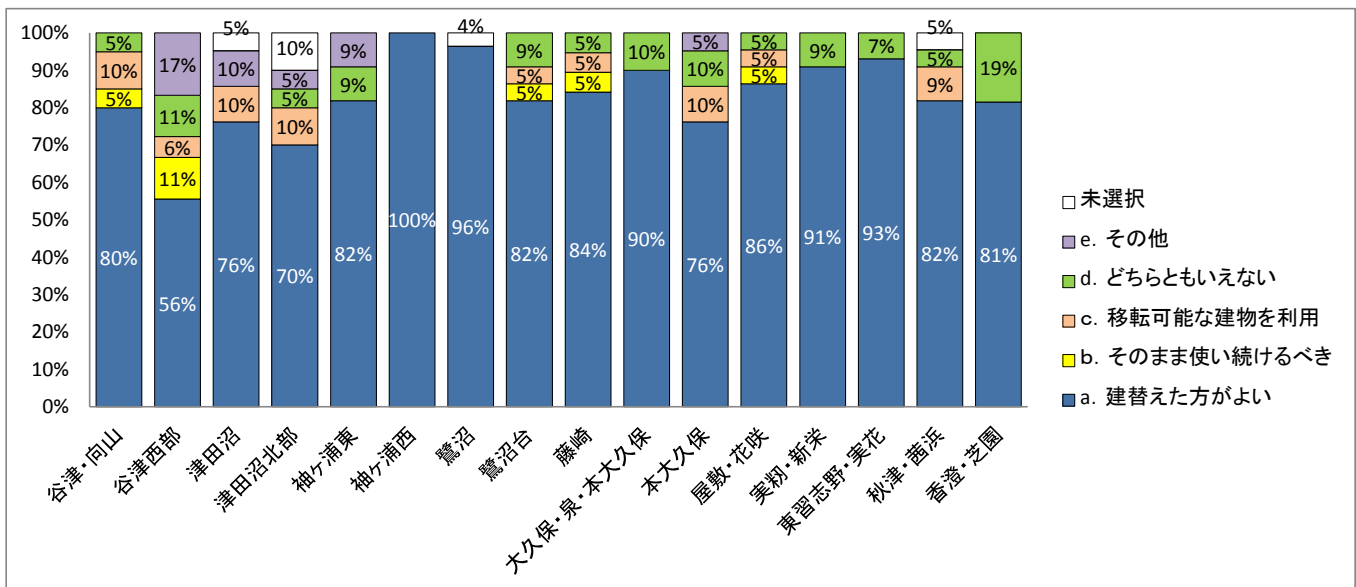
(人)

まちづくり会議の地区	a. 建替えた方がよい	b. そのまま使い続けるべき	c. 移転可能な建物を利用	d. どちらともいえない	e. その他	未選択	計
谷津・向山	16	1	2	1			20
谷津西部	10	2	1	2	3		18
津田沼	16		2		2	1	21
津田沼北部	14		2	1	1	2	20
袖ヶ浦東	9			1	1		11
袖ヶ浦西	12						12
鷺沼	27					1	28
鷺沼台	18	1	1	2			22
藤崎	16	1	1	1			19
大久保・泉・本大久保	18			2			20
本大久保	16		2	2	1		21
屋敷・花咲	19	1	1	1			22
実籾・新栄	10			1			11
東習志野・実花	27			2			29
秋津・茜浜	18		2	1		1	22
香澄・芝園	22			5			27
計	268	6	14	22	8	5	323

【地区別内訳②:割合】

(人)

まちづくり会議の地区	a. 建替えた方がよい	b. そのまま使い続けるべき	c. 移転可能な建物を利用	d. どちらともいえない	e. その他	未選択	計
谷津・向山	80.0%	5.0%	10.0%	5.0%	0.0%	0.0%	100.0%
谷津西部	55.6%	11.1%	5.6%	11.1%	16.7%	0.0%	100.0%
津田沼	76.2%	0.0%	9.5%	0.0%	9.5%	4.8%	100.0%
津田沼北部	70.0%	0.0%	10.0%	5.0%	5.0%	10.0%	100.0%
袖ヶ浦東	81.8%	0.0%	0.0%	9.1%	9.1%	0.0%	100.0%
袖ヶ浦西	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
鷺沼	96.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.6%	100.0%
鷺沼台	81.8%	4.5%	4.5%	9.1%	0.0%	0.0%	100.0%
藤崎	84.2%	5.3%	5.3%	5.3%	0.0%	0.0%	100.0%
大久保・泉・本大久保	90.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	100.0%
本大久保	76.2%	0.0%	9.5%	9.5%	4.8%	0.0%	100.0%
屋敷・花咲	86.4%	4.5%	4.5%	4.5%	0.0%	0.0%	100.0%
実籾・新栄	90.9%	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	100.0%
東習志野・実花	93.1%	0.0%	0.0%	6.9%	0.0%	0.0%	100.0%
秋津・茜浜	81.8%	0.0%	9.1%	4.5%	0.0%	4.5%	100.0%
香澄・芝園	81.5%	0.0%	0.0%	18.5%	0.0%	0.0%	100.0%
計	83.0%	1.9%	4.3%	6.8%	2.5%	1.5%	100.0%



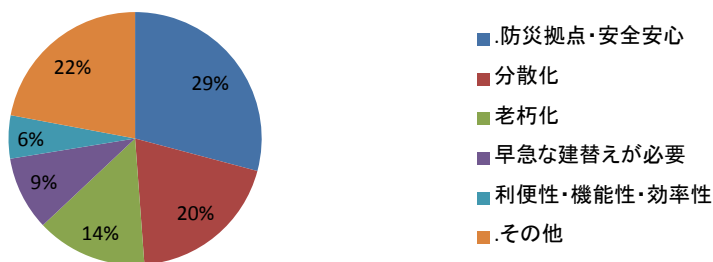
【理由】

※主なものを抜粋して掲載しました。

◆「a. 建替えた方がよい」の理由

理由種別	理由件数	主な意見(抜粋)
防災拠点・安全安心	37	<ul style="list-style-type: none"> ・万一の場合、市の機能が果たせなくなるとは市民が困ることになるからです。 ・東日本大震災でも、自治体の機能喪失が災害からの復旧の大きなネックとなっている。災害対策本部の拠点である市庁舎の建替えは、止むを得ない。 ・大災害が発生した場合には地域のコミュニティ組織だけでは適切な情報、判断等に限りがあり、総体的に機能するには行政の大きな力が必要であるため、その必要性を感じる(今回の震災を踏まえて)。 ・庁舎の安全性確保によって市民も安心ができる。早くの建設を希望します。 ・消防庁舎も含め、震災が起こったときに重要な拠点が無くなるとは、どうしようもないので、早急に建替えた方がよい。また、市民も、そんな危ないところへは行きたくない。また、また働いている方(家族)のことを考えても、建替えしてください。
分散化	25	<ul style="list-style-type: none"> ・本庁舎、分室などバラバラで分かりにくい。本庁舎1棟に全て入っていた方が市民には分かりやすい。 ・部署が分散し、連携がとれにくいのでは。また市役所を訪問しても担当部署が分かりにくい。機能集約型の庁舎として欲しい。 ・建物が分散して、機能・効率が失われているように見えます。総合的にインテリジェント化した建物を新しくデザインすべきと思います。 現在の市庁舎は、「本館の建物が狭くなり、仕方がなく近くの建物に事務機能を移転した」という印象を持ちます。また、建物の老朽化が顕著で、災害時の指揮本部としては不適と思われる。情報化を考慮した市庁舎の建て替えを考えるべきと思います。 ・もっと早い時期に建替えるべきだったが、この際実施されたい。 総合庁舎として(分庁舎は統合したい)企画して下さい。
老朽化	18	<ul style="list-style-type: none"> ・現在のものを補修しても根本的なものにならないので、建替えた方がよいと思う。 ・かなり古い建物であると思われるので、速やかに実施していくべきと思う。
早急な建替えが必要	12	<ul style="list-style-type: none"> ・いつ起こるか分からない地震に対して市庁舎を見るにつけても早く何とかしないとイケないのではないのでしょうか。早く建替えに着手して、安全な市庁舎を望みます。 ・人命にかかわるので早急に建替える必要があると思います。
利便性・機能性・効率性	7	<ul style="list-style-type: none"> ・大地震に備え早急に対策を進めてください。分室、教育委員会事務局等、本庁建物内にし、利便・機能向上をお願いします。
その他	28	<ul style="list-style-type: none"> ・市民のためにもなる(市庁舎は市民の心臓部分でもある)。市庁舎は市民の心臓部分でもある。市民を守る庁舎として、しっかりとした対策を立てる必要がある。 ・市の貴重な資料が置いてある。不明になったら、大きな不益となる。 庁舎は市の顔ですから、しっかりした建物が必要。あまりに分散されては、不能率、集約すべき。 ・市のすべての中心なので、何かあったら、すぐ動ける体制を整える為にも市庁舎の建替えは必須です。 ・財政的に大変苦しい時ではありますが、20年、30年先、次の世代に評価されるような立派な庁舎を建てた方がよい。又、分散庁舎は不可。現在の第4・第5庁舎は売却すべし。 ・16万都市に相応しい庁舎を。 100年先を見据えて建て替えて下さい。長期的に見れば、継ぎ接ぎより、安上がりになると思います。設計施工知恵を絞って、建て替えだ！
計	127	

「a.建替えた方がよい」の理由



◆「b. そのまま使いつづけるべき」の理由

理由種別	理由件数	主な意見(抜粋)
耐震補強による対応	2	・今までは耐震改修した状況がなかったことから、これから充分手当する可能性あり。
他市との比較	1	・出来ない所が多い中で、習志野市は恵まれた用地がある事。緑多き用地に市庁舎がある。
財源問題	1	・無駄なお金は使わないこと！！今はそれどころではない！！
計	4	

◆「c. 移転可能な建物を利用」の理由

理由種別	理由件数	主な意見(抜粋)
クレストホテルへ移転	4	・京成津田沼南口にある元ホテルの建物を利用して欲しい。あそこを廃墟にしまうのは惜しい。市庁舎として生まれ変わらせた。
情報不足	1	・どのような市庁舎を建設しているか見えない。殆ど庁舎に行くことがなく、現状すら把握していないため、一概に言えない。
財源問題	1	・aの方が良いのは分かっていますが、予算の事を考えるとc
耐震補強よりは移転	1	・補強の対応では、どうなのか？
建替えよりは移転	1	・もし空いていて十分なスペースがある建物があれば、それを使って欲しい。現状のままで続けることが難しいのは理解できる。ただ出来るだけ無駄は省いて「質実剛健」な建物にして欲しい。
復旧が優先	1	・この度の震災で市のインフラに甚大な被害が生じた。そちらへの復旧がまず第一の課題である。また、市役所などに耐震工事をしていなかったのは怠惰であると思う。
計	9	

◆「d. どちらとも言えない」の理由

理由種別	理由件数	主な意見(抜粋)
財源問題	5	・建替えがベストだが習志野市は借金が多い。金銭面が解決しないと駄目(市民に増税をかけないのが基本)。
情報不足	3	・現状を目で見たこともなく、数字では良く分かりませんので、建て替えが良いのか、補修が良いのかも判断できません。
説明不足	1	・説明は、もっと分かりやすく、行政のままの説明で不満であった。
市民の意見が必要	1	・必要かどうか、市民が不満があるのかどうか、調べてください。
計	10	

◆「e. その他」の理由

理由種別	理由件数	主な意見(抜粋)
情報不足	2	・情報が少なく判断しづらい。
説明不足	1	・良く分かりません。
検証不足	1	・種々選択肢を良く検証を行い決めるべき。※県庁本館は改修を行いリニューアルをしている。
財源問題	1	・他市との合併を考えるべきではないか。市の税収は今後とも減る方向にある。借金は返せないのでは。
クレストホテルへ移転	1	・駅前旧ホテルの利用も検討してもらえればと思います(複数選択(aとc))。
計	6	

◆未記入の理由

理由種別	理由件数	主な意見(抜粋)
財源問題	1	・習志野市の資産として建替えた場合の土地を売却する等の方法も含めて予算を考える。
分散化	1	・出来るだけ全部門を一つの建物にまとめるべきと思います。
計	2	

(3)「市庁舎の現状と今後の対策の考え方」に関するご意見・ご質問・ご感想をお聞かせください。**◆ご質問・回答**

※【意見・感想・質問】の自由記述欄に記入されたものの内、経営改革推進室で「質問」として判断したものについて回答しています。その他については、「意見」または「感想」として集計しています。
各地区のまちづくり会議事務局を通じても回答を行っています。

質問種別	質問	回答
民間資金導入の検討について	PPP・PFIについて詳しく説明してください。	PFI(プライベート・ファイナンス・イニシアティブ)は、PFI法(民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律)による、公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して国や地方公共団体等が直接実施するよりもトータルコストを削減し、効率的でより質の高いサービスを行う新しい手法です。 事業はいくつかの種類に分類されますが代表的なものとして、民間事業者が施設を建設し、完成後にその所有権を公共に移転し、民間事業者が維持管理及び運営を行うBTO方式や民間事業者が施設を建設し、維持管理及び運営し、事業終了後に公共に施設所有権を移転するBOT方式などがあります。 PPP(パブリック・プライベート・パートナーシップ)は、PFIの概念をさらに拡大したものでPFI法によらない官と民がパートナーを組んで事業を行うという、新しい官民協力の形態の手法です。 PPPとPFIとの違いは、PFIは、公共が基本的な事業計画をつくり、資金やノウハウを提供する民間事業者を入札などで募る方法を指しているのに対して、PPPは、たとえば事業の企画段階から民間事業者が参加するなど、より幅広い範囲を民間に任せる手法のことです。
	資金調達について、民間の資金も考えているとのことですが、どのようなことですか？1階をスーパーマーケットにするみたいなことですか？	例として、土地の一部を売却、又は定期借地として有償で貸出することで地代収入を得るなどで財源を確保したり、庁舎を民間が建設することで建設資金を負担してもらい市は賃借料を払うことで一時負担を軽減などが考えられます。
	民間に依存する形で計画しているが、これを受ける民間企業は不況下で見つからないのではないのか。	市場調査等を行いつつ、十分検討し、事業手法を決めてまいります。
	賃貸すると言われたが、年どの位支払うのか。財政難とのこと、賃借の方が将来を考えてリスクはないのか。	詳細はこれから検討していくこととなりますが、従来型の建設手法と民間活用の事業手法では、後者を選択する場合、民間へのリスク分担を伴いますので十分検討し進めていく必要があります。
財政問題	・総工費60億円とのことですが、詳細(内訳)を教えてください。 ・総工費の妥当性をご説明ください。	現在の本庁舎機能の延床面積は、約14,600㎡あることから想定延床面積を15,000㎡とし、事業費単価を他の自治体の新庁舎建設基本構想段階における単価を参考にし40万円/㎡とすると、概算事業費が約60億円となります。現時点において、庁舎建設費の大まかな目安として考えています。詳細については、今後検討を進める中で、決定していきます。
	資金の目処、調達はどのように考えているか？	庁舎建設の費用は、原則自治体の負担となります。従って、庁舎建設事業費は、庁舎建設基金を除くと地方債のいわゆる借金と事業実施年度の一般財源による税収で賄うこととなります。地方債の割合を増やすと将来世代の負担が増え、一般財源の負担を増やすと現役世代の負担が増えるなど負担のバランスを考えなければなりません。本市の財政状況から毎年の支出の平準化を図ることが必要と考えています。いずれにしても、庁舎の現状を考えると、早期の建替えが必要と考えます。
	どのように財政措置をしようとしているのか、切迫した状況の中で、そのへんが説明がなかった。どこまで実現性があるのか？	庁舎建設の費用は、原則自治体の負担となります。従って、庁舎建設事業費は、庁舎建設基金を除くと地方債のいわゆる借金と事業実施年度の一般財源による税収で賄うこととなります。地方債の割合を増やすと将来世代の負担が増え、一般財源の負担を増やすと現役世代の負担が増えるなど負担のバランスを考えなければなりません。本市の財政状況から毎年の支出の平準化を図ることが必要と考えています。いずれにしても、庁舎の現状を考えると、早期の建替えが必要と考えます。

質問種別	質問	回答
公共施設のIS値について	市庁舎以外の公民館・学校その他の建物も老化している。早く公開して順番を決めて対応してください。IS値を公開して欲しい（全ての建物）。	建築物の耐震改修の促進に関する法律に基づき、平成20年4月に「習志野市耐震改修促進計画」を策定し、対象となる建築物534棟について耐震化の状況を公表しています。
	他の公共施設についてのIS値も知りたい。	同上
消防庁舎の今後	消防庁舎はそんなに古くないと思いますが、耐震性に課題(?)があるとはどういうことですか？	1981年までの建物と1981以降の建物では、耐震設計が大きく異なり、それぞれ旧耐震基準、新耐震基準として区分されています。そのため旧耐震基準の建物は、新耐震基準の建物と比べてどの程度の耐震性を有しているか耐震診断を行い確認をしています。消防庁舎は、1978年度に建設された旧耐震基準の建物であることことから耐震診断を実施し、耐震性能を示す構造耐震指標(Is値)が0.36で地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性があるという結果となっています。従って、消防庁舎は、耐震性に課題がある状況です。 従って、市庁舎建替えにあわせて、今後の対策を検討します。
	消防庁舎は？	同上
建替えの優先順位	庁舎、学校、保育園と皆老朽化。順番はどうですか。	現在、限りある財源を有効的に活用しつつ、小・中学校、保育所、幼稚園の耐震化対策を推進しています。公共施設の老朽化対策は「まったなし」ですので、早急に計画を立て、取り組む必要があると考えます。
クレストホテルへの移転について	設問(2)のcについて、クレストホテルがあがっているようですが、その場合、市で買い取るのでしょうか？	今後の対策について、複数の選択肢が想定されますが、いずれも検討している段階で決定しているものではありません。
新庁舎のスペース・機能について	必要なスペース・機能について詳しく説明して欲しい。	説明資料で庁舎機能を示していますが、あくまでも事務局案として例示したものであり、具体的な庁舎機能やスペースについては今後市民、議会の皆様の意見を聞きながら決めていくこととなります。
市民食堂の今後	食堂はどうするのでしょうか？	同上
市民まつりの今後	全く関係のないことですが、旧習志野高校跡地に建てるという事と、現庁舎の解体後の活用に関して財源確保するという事で、市民まつりは今後どのようになってしまうのでしょうか？	現庁舎用地とグラウンドを含む市役所前グラウンド用地の土地活用については、庁舎、消防庁舎の計画と併せて検討してまいります。
グラウンドの代替について	旧習高グラウンドに新庁舎建設とすると、グラウンドはどうするのか。現庁舎を壊した所を使うには平地は狭く、様々な行事には使えないのでは...	同上

質問種別	質問	回答
他市との比較	職員数あたりのスペースは他市との比較はできているか。	現在の庁舎規模は、分室などを含め本庁舎関連施設の延べ床面積は約14,600㎡、職員は臨時職員等を含め約800名ですので、職員1人当たりの面積は約18.3㎡となります。平成20、21年度に策定された庁舎建設の基本構想における他市との比較になりますが、4自治体のそれぞれの職員1人当たりの面積は、29.2㎡、24.4㎡、25.6㎡、29.7㎡で、平均では27.2㎡となります。
定期的な耐震診断の必要性	耐震診断が前回平成5年とあるが、築後40年経っているが定期的な耐震診断は必要なかったのでしょうか？	一般的に耐震診断は、定期的を実施することはありません。しかし、耐震診断から相当な年月が経過し、耐震補強を行うにあたり、経年劣化などを考慮しなければならないなどの場合は、耐震診断の再評価を実施する場合があります。
大震災がなかったら	大震災がなかったら市庁舎の建替えはどのように考えていたのか？	本庁舎が建築後、50年に近付き老朽化が進んでいること、また、以前より本庁舎建設時の本庁舎機能を大幅に上回る行政需要により、建物の狭隘化、分散化及び耐震性が課題となっていたことから、新庁舎建設に向けての調査・研究を進めていました。
これまでの建て替えの必要性の認識	新耐震は、昭和55年施行であったと思います。市庁舎はそれより以前に建設されており、その時点で補強または建て替えの認識がされていたのでしょうか。	耐震診断と改修を一定規模以上の建物について、努力義務とした耐震改修促進法が平成7年に制定されました。この法律により公共施設の耐震化を進めてきています。これまでは、小・中学校の耐震化に重点的に取り組んできたため、市庁舎については先送りされていました。
他の建物との比較	周辺の築年度の建物との比較はどうだろうか？	本庁舎は昭和38年の建築となり、築後47年を経過しています。他の公共施設との比較として本庁舎より古い建物としては、建物の棟によっては建築年度が異なりますが、杉の子幼稚園、こどもセンター、津田沼小学校、谷津小学校、大久保小学校、第二中学校、泉団地があります。
他の公共施設の地震対策	庁舎に限らず、公共の建物の地震対策は進んでいるのですか。庁舎を含め、全体で検討すべきと思います。	保育所、幼稚園、小中学校、高等学校など順次耐震改修を進めており、その他の施設についても老朽化・耐震性に課題のある公共施設の再生計画に向けた建替え、耐震改修等をき計画的に進めてまいります。

◆ご意見・ご感想

※【意見・感想・質問】の自由記述欄に記入されたものの内、経営改革推進室で「意見」または「感想」として判断したものについて掲載しています。その他については、「質問」として集計しています。

意見・感想種別	意見・感想
財源問題	財政が厳しいと言われ続けて、市民も危機感を持っていますが、極力上手に計画して欲しいものです。
	以前より課題であるが・・・、他の施設も含め、イニシャル・ランニングコストの明示。ほとんど市民・利用者の意見が入らない。使うのは誰か(市民・職員・利用者)。使い勝手のいいものを！安かろう悪かろうは駄目。いかに市民が参加するか、納得できれば多少安くなってもいいのではないかと。単に財政の問題ではない。予算の組み替えができるかどうか(組み替えできる意志を！)。
	現状については、理解できますが、財源等の問題を含め、更なる検討をし、市民に、負担させない方向での検討をして欲しい。また、広報等を通じ、詳細を説明することが必要と思う。
	財政が厳しい中で、子や孫の代にツケを先延ばしとにならないよう、優先して欲しい。市職員や市議会議員の思い切った削減も必要。
	最大の問題は、この様な状況(公共施設全体の問題)になるまで、抜本的取組みがなされなかったことです。単年度予算とは言え、長期的な視点で経営計画を策定して欲しい。
	建替えを行うには、まずその財源をどうするかが最大のポイントであろう。このため、資料中にもあるようにPFI、PPP方式など、市や市民にとって幅広く手法などを検討し、最適な方法の選択を期待したい。
	本庁舎建設に際して、市とその関連団体が保有している資産を総て開示し、不要な資産・余剰資産を売却処分することが、基本スキームにはあげられていない。B/Sを大きくする議論は不要と思う。まずスリムにして必要な投資に廻すことと思う。
	費用の捻出に関しては、専門的な立場で検討いただき、市民の負担をできるだけ少なくするよう検討をお願いします。庁舎の検討計画を示して欲しいのですが・・・。
	建替えの全体像が分からないが、民間の力を借りて建物を建てて、そこを借用するとの話もありましたが、総合庁舎として使用するためにはかなりの賃料を払うこととなるが、財政的に可能なか疑問である。なぜならば、建替えの準備金積立金が40年で10億円との話のため資金が足りないのではないかと。
	将来的には必要であると思う。今の習志野市の予算現状では難しいのではないかと。
	市の借金が多すぎる。
	市庁舎の建て替えを行うのであれば、袖ヶ浦地区のこども園を作る件は白紙にしては・・・？お金がないのだし。
	市庁舎として、まず、建替えの結論が出る事が遅ければ、最低限の補強をしてでも使用していくことも考えなければならない。市に予算がない中では、本来の合理的な考え方も必要である。
	①現在描かれている将来像 ②その為の総予算
	市自前の費用で建てることを基本中の基本としていただきたい。その為には出来るだけ机・椅子等、様々な備品を十分吟味して高額の支払いにならない様に抑えていただきたい。
	建替は必要だと思うが費用の点が一番問題だと思う。移転可能な建物があるならそれがどこなのか、そしてそれを使用する費用と建替えの費用とどちらがよりよいのか比較検討するのが先ではないのか。
	新築する場合と耐震改修する場合との費用の比較を詳細に検討することが望ましい。
	習志野市は貧乏市です。血税をなるべく使わない方向で考えて欲しいです。
	市民に負担のかからない最良の方法で早めに市庁舎は建替えるべきだと思います。
	市民に負担がかからぬ様に願いたい。
古くなった建物はいずれ破れる。建て直すには良い機会である。しかしながら費用をどうするかが問題である。役所はどちらかという生産性の低い物といえるので、必要最低限のものにすべきだと考えます。	
問題は資金ですが、効率的な方法を考えてください。	
市の経営状態が見えない。	
一番大事なのは、財政面だと思う(関心が高い)。赤字を大きく抱えている市財政の中で、どのくらいのものが必要かどうかからスタートする(他市～最近建設したものの事例、取り組んでいる他市(県)の行政機関の情報等も提示する必要があり、それによって市民が納得できる説明をする)。	
建て替えについては、総費用(資金)がどのくらいか、一応の費用を示して資金の集め方を明らかにして欲しい。	

意見・感想種別	意見・感想
財源問題	財政的に可能？
	財源の確保、コスト試算、機能面について十分な議論をして欲しい。
	建築費用の捻出方法→①習志野市民から募金する方法・②市債を国債と同率の利息を支払う方法
	まず市有地(遊休地)の処分(費用にまわす)
	新庁舎建設の為市有地を手放すことは、将来を考えた時には感心しません。財源を安易な方法で考えないで欲しい。市議会議員減、その他の方法を考えてみてはどうでしょう。庁舎だけでは民間事業者に賃料を払うことは考えないで欲しい。複合施設にしても市が民間事業者から賃料を受け取るように！！他の施設は考えてもよいが、庁舎だけは市有が望ましいと思う。
	習高跡地に建て替える方法は良いと考えるが、財源不足をまかなう為に余分な土地を処分することには大反対します。理由①将来再建築のために面積は多い程良いこと、②この土地の3分の1は習高生保護者からの寄付金で確保したもので、旧地主さんや、生徒や保護者の思いが有ること。
新市庁舎への希望	今後40～50年の習志野市の社会変化を充分考慮する(人口数・年齢構成 他)、耐震性を考慮する、習志野の特徴が何か出せればなお良いと思う、資金計画も周知を集めて、市民皆で建築する。
	反対する方もいると思われませんが、実現に向かって進めてください。将来的な考えに立ち、しっかりとした庁舎建設をしてください。今回の震災の中で、自治体がしっかりしている所は安心して住民も行動しているように見受けられる。立派な庁舎の中で職員の皆さんにしっかりとした行政をやってもらいたい。
	習志野市の顔として使いやすい美しい庁舎があるといいと思います。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ “City Hall” の名に相応しい住民が訪ねて憩える新市役所の建設 ・現状の市役所では市民の事務サービスは我慢できるとして、先を見据えた市役所の機能を住民の意を組んで設計していただきたいものです。 ・コンセプトは “市民の広場”
	できるだけお金をかけずに機能・耐久性上、必要充分なものとしていただきたい。
	まず、庁舎の建設に踏み出したことを評価したい。新庁舎の機能に、市民が庁舎を利用しやすいようにしてもらいたい。
	機能性を望む。
	金はないかも知れないが、折角つくるなら、市民が、オラが市役所として誇れるような良い役所(ぜいたくという意味ではない)を作って欲しい。
	大きな事業になりますので、広く市民の意見、検討委員会の意見等を取り入れるという話ですが、将来の事を取り入れ、容積については配慮して頂きたいと思います。
	<ul style="list-style-type: none"> ・転入者にやさしい市役所であって欲しい。市が好きになる(学校等諸届、年金、税、転入手続、市政案内等) ・バリアフリー等、高齢者、身体不自由者に対する最大限の配慮。 ・省エネ(太陽光発電、風力発電、コージェネレーション)
	明るく、市民が楽しく利用できるような庁舎。
	50年、100年後も使用可能な建築をし、今後の利用に不便でなく、誰でも利用できる庁舎の建築を要望します。自然エネルギーの活用等、最近問題となっているエネルギーの改善も要望します。エレベーターの動作や非常用電灯は、自然エネルギーによる利用をすることです。
	自然エネルギーの活用と併せてPPSの検討もお願いします。立川市は学校関連をPPSに變更することで、電気料金15%オフになったと聞いています。検討の必要があると思います。→市の予算節約の意味で検討してもらいたい。
	どうしても建て替えになるのなら、太陽光・自家発電などを取り入れた、災害時にも対応できるように、また、省エネ、更に資産の処理や、人件費など、市民が充分納得できるような建物、やり方を考えて欲しいと思います。
	市庁舎建築予定地は広く、庁舎建設に当たっては、高さを求めるのではなく、2階、3階建の低層建築などで対応できないのか？
	やはり市役所は市民の拠り所となる所です。そこに行けば緊急時何とか力になっていただけると確信しています。避難場所にもなる安全な空間であって欲しいと思います。
IT・バリアフリーを考慮して欲しい。	
この機会に、IT機種を入れ、職員を少なくする努力をすべきです。民間の努力を見習うべきです。	
老人施設や、市民開放の共用部分を複合的に建てる。	

意見・感想種別	意見・感想
新市庁舎への希望	市庁舎本館へ行く機会がほぼない現在、せつかく建替えるのであるならば、図書館など、市民が利用できるような公共施設を入れ込んで欲しい。
	文化都市に相応しいホール500～800名収容の併設をお願いします。美術館のない習志野にさびしい思いです。
	建替えるなら、最新の技術を使ってください。
	住民サービスにつながる等メリットのある建替えを！
	市民に便利な庁舎機能を持ちつつ、防災に強い庁舎でなければならないという意味で、いつ再被災がくるかわからない現状から早急に市民に詳細を開示し、予算を含めた早期着工に向け準備を進めていただきたい。
	高齢化が進み、バリアフリー等々、また、高齢者に分かりやすく敏速な対応のできる庁舎にして頂きたい。高齢者だけでなく市民全体の人に平等に公平に対応できることが必要ではないか。安全で安心な市庁舎にして市民の為の市庁舎にして欲しい。
民間資金導入の検討	説明の中に、市が庁舎を建てるのではなく、他が建てて、借りるというようなことであれば費用のかかり具合がかなり違うようですが。私としてはわかりませんが、もしその様なことで進めて行くのであれば、しっかりとした検討をお願いしたいと思います。
	税金の負担が少ない方がよい。公民連携やPFIなどの案もよいと思う。
	資金的に困難なら、賃借又は証券化当の方法も考えたら如何ですか？所有にこだわらず、使用ができれば良い。考え方を変えるのも一手だと思えます。
	PPP・PFIを活用してください。
	PFIは、八千代市の萱田第二分離校に先例があります。また、スポーツジムや、施設を有料開放し、資金＋収益にすべき。防災建設についても、八千代市防災本部に免震対応となっているので、参考にしてください。
	民間資金の活用 ①民間（企業、市民）のファンドを組んで建てる。 ②研究して欲しい。
	PFI、証券化等を考慮してはどうか。
	建替えを行うには、まずその財源をどうするかが最大のポイントであろう。このため、資料中にもあるようにPFI、PPP方式など、市や市民にとって幅広く手法などを検討し、最適な方法の選択を期待したい。
民間資金導入の検討（懸念）	民間に依存する形で計画しているが、これを受ける民間企業は不況下で見つからないのではないかな。
	PPP/PFI等の手法は良いが、早く要件を作成し、パートナーを選択しないと、中々進展出来ないと考えます
	PPP、PFIは当面の負債を先送りすることにもなり、民間企業との安易な共同計画は深く検討すべきと思えます（あくまで民間企業は利益最優先）。
民間資金導入の検討（反対）	新庁舎建設の為市有地を手放すことは、将来を考えた時には感心しません。財源を安易な方法で考えないで欲しい。市議会議員減、その他の方法を考えてみてはどうでしょう。庁舎だけでは民間事業者に賃料を払うことは考えないで欲しい。複合施設にしても市が民間事業者から賃料を受け取るように！！他の施設は考えてもよいが、庁舎だけは市有が望ましいと思う。
職員数・議員数の削減	この機会に、IT機種を入れ、職員を少なくする努力をすべきです。民間の努力を見習うべきです。
	建替えるには、職員・議員数を増やさないで（特に議員は少なくし）コンパクトで機能的な無駄のない建物にしてもらいたい。
	職員数・議員数のスリム化について、一層の検討・努力を要請する。
	先ず金の心配をしない方法を考えて欲しい。市役所の人数・給料などを減らして、まず、自分たちが模範を示さなければ、賛成しかねる。
	議員数が多い（他市にくらべて）。
	新庁舎建設の為市有地を手放すことは、将来を考えた時には感心しません。財源を安易な方法で考えないで欲しい。市議会議員減、その他の方法を考えてみてはどうでしょう。
	財政が厳しい中で、子や孫の代にツケを先延ばしとにならないよう、優先して欲しい。市職員や市議会議員の思い切った削減も必要。
	市の職員数、人件費については他市に比して高いと感じました。無駄な経費の削減をお願いします。

意見・感想種別	意見・感想
事業の優先順位・復旧・公共施設再生との関係	<p>現在被災家屋がまだ手をつけられない所も多いと聞きます。まずは住民の復旧を早くして、その次ではないかと思えます。</p> <p>確かに老朽化しているが、こんな時に、と思う。実際に使用できない訳ではないし、その予算があるならば、他に回して欲しい。今回の震災で、大変な思っている人達も大勢いることを忘れて欲しくありません。仕事も家も・・・それに比べたら、貴方達は仕事があるだけで良いのでは。</p> <p>築年数、地震のダメージや安全面からも、建て替えた方がベター思われるが、現情勢を鑑みると、建て替え時期のタイミングを図るべきだと思います。</p> <p>市内の震災被害の対策を何より優先させていただきたいですが、説明を聞いて、市庁舎の建替えも必要とは思わう。</p> <p>今後まだまだ大きい余震があるとされているが、終息の目安が出た時点で建替えてみてはどうでしょう。また、14号線より海側の復旧が先ではないでしょうか。</p>
事業の優先順位・復旧・公共施設再生との関係	<p>市庁舎の建て替えに関しては、文句はない。市の顔ではあるし。ただ、弱い立場である子どものことを一番に考えてもらいたい。耐震工事の終わっていない小中学校の校舎が、まだたくさんあり、そこで多くの子ども達が勉強しているのだ。そこにもう一度地震が来れば、どうなるか？親は学校に子どもを託しているのである。是非早急に。</p> <p>今、何を優先すべきかの選択をしてください。市（行政）も議会（議員）も自らに厳しくしてください。その上で、市民に厳しさを提示してください。例えば、「市長交際費」の内容は公開されていますが、「冠婚葬祭費」「行事参加」などは不要と思います。市民側から慣例として求めたとしても、全廃する対処を示してください。緊急時なのではないですか？</p> <p>他の公共施設もおそらく建替えが必要なものも多いと思う。市全体として長期的展望と考え方で計画して欲しい。</p> <p>行政改革に関する各種の諮問が出ているのであり、特に公共施設の再生の検討が行われているのに、それらを同時に説明しないで、市庁舎の話だけ突然出すのはフェアでない。</p> <p>市内の公共施設老朽化が124施設対象、築30年以上が72%とのこと、市全体の公共施設統廃合を進め、売却できるものは売却し、財政負担の軽減も要。</p> <p>耐震性に課題のある公共施設の対応に大きくし寄せが来ないよう検討して欲しい。</p>
市民への周知・意見集約	<p>現状の市役所では市民の事務サービスは我慢できるとして、先を見据えた市役所の機能を住民の意を組んで設計していただきたいものです。</p> <p>今後40～50年の習志野市の社会変化を充分考慮する（人口数・年齢構成 他）、耐震性を考慮する、習志野の特徴が何か出せればなお良いと思う、資金計画も周知を集めて、市民皆で建築する。</p> <p>建物の老朽化や下水設備の不具合により、菊田遊歩道は水害で困っている。出勤できず（水たまり）、消防局出勤依頼する現状である。 工事中の近隣町会に工事の状況、騒音等について具体的に説明し、理解を得ること。関係町会について町会長等を中心に意見を集約すること。</p> <p>先般の会議での説明では、老朽化等による要因にて、サービスの低下を招いているとの事であった。確かに外的要因での問題もあるが、内的要因（要素）により、カバーすることが可能であろう。但し、現在の庁舎では、安全でないのは判る。早急に検討する必要は認めるが、形式ばかりになっては、駄目でしょう。 それと、市議会での応諾よりも、先に市民に対してアンケートを採るなりの方があつたのではなからうか？</p> <p>住民投票にかけたら</p> <p>アンケートは前もって。当日回収では意見は出てこない。</p> <p>以前より課題であるが・・・、他の施設も含め、イニシャル・ランニングコストの明示。ほとんど市民・利用者の意見が入らない。使うのは誰か（市民・職員・利用者）。使い勝手のいいものを！安かろう悪かろうは駄目。いかに市民が参加するか、納得できれば多少安くなってもいいのではないかと。単に財政の問題ではない。予算の組み替えができるかどうか（組み替えできる意志を！）。</p> <p>幅広く市民にアンケートを取るべき。市役所のホームページなどで実施してみても？</p> <p>市民理解をより得るための現状視察・見学会等を考えたらどうでしょうか？</p> <p>より詳細な市民への説明会を希望します。</p> <p>もっとたくさんの市民に説明する場を早く作ったほうが良いと思う。話をもっとわかりやすくして欲しい。</p> <p>どうしても建て替えになるのなら、太陽光・自家発電などを取り入れた、災害時にも対応できるように、また、省エネ、更に試算の処理や、人件費など、市民が充分納得できるような建物、やり方を考えて欲しいと思えます。</p>

意見・感想種別	意見・感想
市民への周知・意見集約	建設計画の基本スキームの説明以外にも検討事項が多く考えられると思うので、経過等報告については、細部漏らさず行って欲しい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の要望・意見を幅広く聞く機会を積極的に設けて欲しい。 ・検討委員会等にも市民が参加する機会を設けて欲しい。
	建て替える対策はわからない。
	<p>建替えは良い機会。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①中長期の全体の予算計画、事業計画の明示 ②市の業務の見直し、サービスの見直しを目に見える形に ③短い時間で無理とは思いますが、耐震補強ができない理由の明示 ③「要望」も大切だが、必要性・効果が疑わしいものは見られる（お金を使うのが目的になっていないか）
	以前にも庁舎建替えの話が出たのは、「災害時対策本部の為にしっかりした建物を」を言われるが、あまりにも大まかな話で、習志野ではどのような対策本部の為にどのような庁舎が必要なのか。またある程度は、行政の今後の考え方を開示してもらった方が判断可能。
	新築の進行状況について説明ください（大分前から計画しているはず）
	耐震性能（IS値）を上げる方法としては、建て替えと補強の二つの方法があると思う。補強した場合の効果と比べて、建て替えの方がトータルで効果が高いことを知らせるべきだと思う。
市のイニシアチブ	何十年も使用することになるので、知恵を絞って財源を確保するよう、何とか努力・頑張ってください。今まで計画があったのに関わらず実現しなかったのはどういう理由なのか、多少無理をしてもその理由をクリアして建替えを実現してください。
	正々堂々躊躇なく推進して欲しい。
	今後どうするかという点について、ある程度のプランを提示して、それについて意見を述べる方が良いと思います。
民間施設の活用	京成津田沼駅前のホテル（クレスト）利用が可能か検討。
	旧クレストホテルの活用は考えられないか。
跡地利用	現庁舎跡地利用については、売却等で財源確保に充てるなどで今後の検討課題とはせず、併せて検討すべきだと思います。
	跡地の利用については、市の将来性を鑑み、採算性など慎重に検討して頂きたい。
人件費の削減	先ず金の心配をしない方法を考えて欲しい。市役所の人数・給料などを減らして、まず、自分たちが模範を示さなければ、賛成しかねる。
職員の意識改革	市民の為に仕事をするのが大前提。それを忘れる職員がいたら、席を用意する必要なし。
市民まつりの今後	駐車場の確保をするために、市民の集い、まつりの場をなくすことのないようにして欲しいです。
過去の検討結果の活用	経過の中で、H5、H17年度に大掛かりな検討を行っている。今、これらを生かせる内容はないのでしょうか？（無駄な仕事になってしまう）
JR津田沼駅南口への建設	現在の庁舎の側での建替えでは、市役所へ用事で行っても、買い物をしたり楽しみが何もないので、いっそ、JR津田沼駅南口側を検討してみても。モリシアや奏の杜の商業施設の活性化にも役立つ。自転車置場の土地を利用して建物を建てる。立体駐車場をモリシアを共同経営して、駐輪場の規模を増やす。
無線基地局の設置	防災の観点で要望：市庁舎屋上に無線基地局を配置し、双方向通信が可能となる体制にしていきたい。
公開プロポーザル・コンペ	設計者選定も公開プロポーザルや公開コンペ等により広く案を公募して欲しい。
説明が良かった	現在の耐震状況が分かって良かったです。
説明不足	あまりにも簡単な説明である。
	説明は、もっと分かりやすく、行政のままの説明で不満であった。

2. 習志野市の行政サービス全般について伺います。
・現在の行政サービスに満足していらっしゃいますか。

【回答の集計】

選択肢	人数(人)	割合(%)
大変満足している	8	2.5%
満足している	95	29.4%
ふつう	136	42.1%
やや不満	40	12.4%
不満	16	5.0%
未選択	27	8.4%
その他	1	0.3%
計	323	100.0%

